

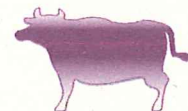
布佐中学校だより 1月号



我孫子市立布佐中学校 令和3年1月6日発行
我孫子市布佐1301 ☎7189-2426 Fax7189-2421



謹賀新年・・・新しい年を迎えて



新年明けましておめでとうございます。旧年中は本校教育活動の推進にご理解やご支援をいただき、誠にありがとうございました。

本日の3学期始業式は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、体育館で全員そろっては行わずに放送により実施しました。1月は新年の始まりであるとともに、学校にとっては学年のしめくり・まとめの始まりの月となります。3年生は卒業後の新しい自分の進路選択に向けて、1.2年生は進級への大切な準備期間となります。ご家庭や地域との連携、信頼関係のうえでの協力が学校にとって一番大切なものと考えておりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2学期末の2年生の学年集会で「木を見て森を見ず」という言葉について話しました。昨年12月に小惑星探査機「はやぶさ2」が再突入カプセルにより地球帰還した小惑星 Ryugu (リュウグウ)のサンプルを持ち帰るという明るいニュースの話題から、自分の夢や希望を大切に、自分を支えてくれている人を大切にしながら頑張っていきましょう!と話しました。その時、「目の前のことだけにとらわれてしまい、大切な全体が見えなくなってしまうこと」「細かい部分にこだわりすぎて、大きく全体や本質をつかまないこと」にならないようにしたい、という話もしました。3年生ならば、受験、入試、試験、面接・・・大変なことがあります。でも、進学して自分は何をしたいのか、何のために勉強するのか、そして、自分の夢や希望の実現のためにどうしたいか、などということを考えることだと話しました。特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ続く状況のなかですが、新年の抱負や卒業や進級に向けての目標を生徒の皆さんには確認してもらいたいと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大はまだまだ続くように思われます。目の前の新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザなどの感染症、交通事故や怪我等々、目の前のことにも注意を払う必要もあります。「森を見て木を見ず」でも困ることもあります。学習では、毎日の1時間、1時間の授業を大切にすること、家庭での学習も毎日の積み重ねが大切と思って続けることが大切です。友だちなど人間関係のこと、部活動のこと、日常生活の中での何気ないことでも、その時、その時のことを大切にしなければと思います。一瞬、一瞬の積み重ねが未来に繋がっていると思うと、「森」だけ見ているといけないということになります。

本校の学校教育目標は「自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成」です。年度末までには、生徒の皆さん全員に、校内で使用できる1人1台のタブレットの配置があります。新年度から始まる新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を進めていくためにも、学校として準備をしたいと思います。例えば、各教科の授業のどの場面でタブレットを使用してICT教育を進めていくのか、具体的にタブレットを使用してどのようなことができ、生徒の学習の効果をあげるためにどのように使用するのか、ということを計画的に行う必要があります。使用する教科書も新しくなりますので、学校として教育課程の見直し、新しい年間指導計画の作成も進めなければなりません。そのための「学校評価のための保護者・生徒アンケート」のご協力ありがとうございました。集計ができ次第、各項目ごとに分析し、次年度の計画立案にも役立てていきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

○「ふさカリキュラム」総合的な学習の時間の授業報告

……ふるさと布佐に誇りを持って、新しい時代を生きる力をつける

今から10年前、平成23年から総合的な学習の時間に布佐中区小中3校の教職員により、布佐のまちを愛し、故郷に誇りを持って新しい時代を生きる力の育成を目指した「ふさカリキュラム」が始まりました。小学校3年生から中学校3年生までの7年間の総合的な学習の時間の計26時間を通して、ふるさと布佐の自慢見つけ、布佐の安全、良さ発見、手賀沼干拓の歴史や気象学の父岡田武松博士について、布佐の洪水の歴史や栄橋の歴史、文化や伝統等々を学ぶもので、各小中学校で一貫したカリキュラムを作成して協力して行っています。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応から学校行事や授業の形態も変更や検討が必要になっていて、「ふさカリキュラム」の取り組みも例年通りとはいかない状況ですが、色々と工夫してできることを模索しながら、各学年で取り組みを続けています。前回の12月号では3年生の語り部ボランティアの皆様の話を聴く授業を紹介しましたが、今回は2年生の取り組みを紹介します。

……2年生「ふさカリキュラム」の取り組み……

◇その1 我孫子・布佐の歴史を学び・疑問について教えてください

12月11日(金)5、6時間目に我孫子市文化・スポーツ課学芸員の今野澄玲先生を講師にお招きして、講話をしていただきました。生徒が学習してきたなかで疑問に思ったこと、分からないことを中心に、事前に質問事項を送り、その疑問・質問に答えていただく、という形式で講義が始まりました。生徒の各グループ5つまでという制限がありましたが、次週に行われるフィールドワークも踏まえて、志賀直哉や加納治五郎、飯泉善雄や血脇守之助、杉村楚人冠などについての質問もあり、図や写真を使いながら大変分かりやすい内容で生徒たちも大変集中して聴いていました。



◇その2 実際に自分の目で見て確かめ実感することの大切さ

……市内史跡めぐりフィールドワーク

12月18日(金)の午前中に1組、2組とバス2台に分かれて、密にならないように逆コースをたどりながら市内史跡めぐり・フィールドワークに出かけました。コースは、加納治五郎別荘跡地から杉村楚人冠記念館、白樺文学館から志賀直哉邸とすすみました。白樺文学館では館長の辻さんから説明もしていただきました。そして、布佐へ戻り、竹内神社境内へ行きました。そこでは、ボランティアで長年竹内神社の奉仕員を務めている香取 武さんから竹内神社の由緒や現在までの変遷、日露戦争の戦勝記念で境内に建てられた英文碑、本殿の屋根の作りにより、祀られているのは男性の神様であることが分かるなど興味深い話をうかがいました。そして、気象学の父、岡田武松博士邸宅跡に建てられた「ふさの風」では、ボランティアの小林和彦さんから気象学の基礎、人々のための気象予報のために軍部の圧力にも屈しなかった戦争中の様子などの岡田武松博士にまつわる話、すぐ向かいには住んでいた松岡鼎を長兄とする松岡兄弟(民俗学の父、柳田国男ら)のことなどのお話をききました。馬頭観音堂では、銚子からの魚の舟運で栄えた布佐河岸や鮮魚生街道で輸送に使われた馬の供養のための話などをしていただきました。



「ふさカリキュラム」については、時代と共に姿を変えて、その時の学校や生徒、学習の状況によって工夫され変化させながらも、自分の生まれ育った布佐という町を知り、自ら調べ、地元の方から直接話を聴き、自分の目で実際に見ることによって得られる誇りを持って、これからの新しい時代を生きる力



を身に付ける土台となる大切なものを学習するものとして、これからも続けていきたい
と思います。ボランティアの皆様、地元の皆様これからもよろしくお願いいたします。



○2年生「職業人講話」を実施しました…夢や希望、そして、働くということ…

教科・領域の学習だけでなく、学校ではさまざまな学習をしています。「キャリア教育」もその中の一つで、時代
の変化とともに社会の中で求められる力は変化し、自分らしい生き方を実現するための力の育成を目指
す「キャリア教育」の重要性が高まっています。生徒たちが、学ぶ意欲を高め、職業人としての自分の
進路を自分で決めていく力を養うことはとても大切です。「キャリア教育」という言葉の他に、「職業教
育」という言葉もあります。職業教育とは、「一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技
能、能力や態度を育成するもの」とされていますが、「自分らしい生き方」を実現するために、中学校で
は、キャリア教育を各教科と横断的に捉え、学習と実社会を結び付けて考
えることを重視した取り組みが大切とされています。



そのような中で、本校でも毎年、「就職体験」と称して、3日間の職場体験を
地域の事業所の皆様のご協力のもと実施していましたが、本年度は、新型コ
ロナウイルス感染症拡大予防のための対応として実施を見合わせ、その代
替として、実際に毎日現場で働いている職業人の方々に来校していただき、
各グループに分かれて、少人数でお話をうかがうといういました。



来ていただいた講師の方は、飲食関係、スポーツ関係、IT 関係、警察関
係、教育関係、そして美容関係、計7名の講師の方々からお話をうかがいま
した。生徒は希望に基づき、できるだけ希望する講座に参加する形をとりま
した。お話だけでなく、様々な道具等も持参していただき、生徒が手に取って
みることもできるよう配慮していただいた講座もありました。社会の急激な変化
が、私たちの社会的・精神的発達にも影響を与えているとも言われています。
実際に、日本の子どもたちの自己肯定感や人間関係構築力、意欲、将来へ
の希望などは、相対的に低い水準にあるという報道もあります。学校としても
小学校でのキャリア教育を踏まえて、中学校3年間のキャリア教育の充実を
はかり、高校、その他へしっかりとつなげていく責任があると考えています。
講師の皆様、本当にお忙しい中、ご協力ありがとうございました。



○「ふさ子ども学習室」紹介…主体的な「家庭学習」の習慣づくりのために…

保護者会の全体会や学校だより等でお知らせしたことがあると思いますが、「ふさ子ども学習室」が地域のボ
ランティアの方々の運営により取り組まれています。布佐中区の小中学生の家庭学習の習慣づくりのため6教室
(上町・おおばん・ふさの風・南近隣は木曜、復興会館・新木駅前火曜)の夕方の2時間、学習支援ボランティア
が常駐・支援して家庭学習の習慣づくりに力を貸してくれています。ノ一部活デーなどに対応してくれていますの
で、「主体的な」学習を進めるためにも利用してみたいはいかがでしょうか。

○部活動についての確認

県内外の高校の部活動を通じた部内での新型コロナウイルス感染症の拡大が報じられていますが、我
孫子市内の中学校の部活動について、冬休み終了まで練習試合などの対外試合は基本的に中止となっ
ていました。予定されている公式試合は予定通り実施となりますが、出来る限り少人数での参加や3密の回
避のための対策の徹底などをすることになっています。非公式の大会は基本的に自粛の方向で考え、参加
については部毎に判断となっています。3学期が始まりましたので、現状から新たな対応が必要になる場合
もありますので、決定次第、顧問からお子様を通して速やかにお知らせいたします。

○新型コロナウイルス感染症拡大予防について…確認とお願い…



1. 報告・連絡・相談のお願い

コロナ感染症関係で、何かありましたら報告や連絡、相談をお願いします。

2. 検温・健康観察の徹底…ご家庭で登校前の検温、健康観察の徹底を引き続きお願いします。

3. マスクの着用

マスクの着用についても引き続き、校内だけでなく、休日など自宅の外に出る時など基本的にマスクの着用をお願いいたします。

4. 手指の消毒・手洗いの励行

登校時の校舎内に入る時の手指の消毒をはじめ、給食前やトイレや特別教室から戻った時など、こまめな手洗いの実施をお願いします。ハンカチなども忘れずに習慣化を図りましょう。

5. 3密を避ける…相手との距離やマスクなしでの会話や大声などにも注意しましょう。

6. 湿度を保つ…学校でも各教室に加湿器を設置しました。目安として湿度 40 %以上に保つべきなどの報道もあり、できるだけ教室等でも湿度の保持に努めます。

※確認・お願い

- 同居しているご家族の方で新型コロナウイルス感染が疑われる場合(濃厚接触者になったりPCR検査を受けることが決ったりした時)は、すみやかに担任までご連絡ください。生徒はその時点で登校できません。その際は、欠席扱いとはなりません。
- 同居しているご家族で発熱等の方がいる場合は、登校を控え、回復の経過を見てから、登校するようにお願いします。その際は欠席扱いとなりません。

○1月の表彰

- 技術科授業で作成した木工作品が地区選考を経て、千葉県内中学生作品の代表8つのうちの一つに選ばれました。(現在、1階廊下の表彰の戸棚に展示中です)
- 千葉県中学校木工工作作品展…奨励賞 2年 石井 陽向さん
- 野球部…葛南地区中学1年生野球フェスティバル大会 第3位
- 男子バスケットボール部…我孫子市中学校新人体育大会 準優勝



優秀選手賞…2年 佐野 竜渉さん 2年 前田 駿さん

○1月・2月の主な行事予定

日	曜	1 月	日	曜	2 月
6	水	始業式 避難訓練(放送) ノー部活デー 下校11:15	4	木	ノー部活デー
8	金	3年実力テスト 7日~完全下校16:45	5	金	委員会 I 8日~完全下校17:15
11	月	成人の日	9	火	布佐中区小中・地域連携学校運営協議会
14	木	ノー部活デー	10	水	委員会 II
15	金	委員会 I	11	木	建国記念日
19	火	委員会 II	15	月	部活動停止期間~19日
21	木	ノー部活デー 25日~完全下校17:00	18	木	1.2年生定期テスト①(英理社) 給食なし
22	金	1年総合磐梯噴火記念館佐藤館長特別授業	19	金	" ②(国数技家) ノー活動デー "
26	火	ノー部活デー	23	火	天皇誕生日 22日~完全下校17:30
28	木	3年生第3回定期テスト①(英数国)	24	水	千葉県公立高校入学者選抜①
29	金	" ②(理社技家) 新入生保護者説明会	25	木	" ② ノー活動デー
31	日	新春マラソン大会	・卒業式は3月16日(火)生徒・保護者参加予定です。		